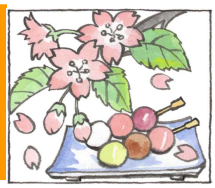
宮崎市 COOL CHOICE 通信

美しい宮崎を未来につなごう

第６号（R2.３）



はじめよう！温暖化対策

新年度がスタートし、新しい生活を始める方も多くいらっしゃいます。
これからは今までの自分より「地球にやさしい」生き方改革してみませんか。何をどうすれば温室効果ガスは減るんだろう？そもそもどういったときにどれくらい出ているの？
地球にやさしいクールな生き方について、一度考えてみてください。

カワット

●日常生活で出る温室効果ガス

宮崎市の温室効果ガス総排出量

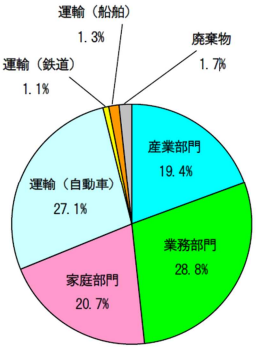
約 2,951 千t-CO2

うち二酸化炭素排出量

約2,636千t-CO2

※平成28年度の数値となります

全て吸収するのに約2億1,100万本のスギの木が必要



二酸化炭素（CO_2）の部門別排出割合（平成 28 年度）

二酸化炭素排出量のうち、家庭部門が約 21%、業務部門（オフィスや店舗など）が約 29%、運輸（自動車）部門が約 27%となっており、これら三部門の二酸化炭素排出量が全体の約 80%を占めています。

●1日1時間利用を短縮した場合の CO2 の削減量

●白熱電球・・・・年間　9.855kg
●LED ランプ・・・年間　1.645kg

電気はこまめに消そう

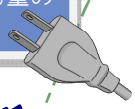
●冷房……年間　9.39kg
●暖房……年間　20.36kg

温度の設定は
冷房……28℃
暖房……20℃
に抑えよう

●年間　1.9kg
（ノート PC の場合）

省電力モードを利用したり、使用しないときは電源を落とそう

家庭1世帯あたりの待機時消費電力は平均で228kWh/年（電気料金では約6,160円/年）であり、家庭の1世帯あたりの全消費電力量の5.1%に相当します。



少しだけ行動を変えることが温室効果ガス削減に繋がります

●企業や家庭でできること～実際の家庭・企業の排出量を調べよう～

温室効果ガス削減が大切なのは知っているけれど、実際の家庭・企業の排出量はどれほどなのか。どこを省エネするのが一番効果的なのか。数値を調べて確認するのをおすすめします。どこで余分なエネルギーを排出しているかがわかりますし、数値にし、「見える化」することにより、目標が明確になり、家庭内・企業内での意識の変化も期待できます。

測量器をレンタルしたり、現在はスマートフォンを利用した測量器もありますので、どれくらい利用しているかを数値にしてみましょう。宮崎市では下記2つについてご案内しています。

エコワットを活用しよう！

エコワットとは、コンセントに差し込み、家電製品を接続すると、使用電力量、CO2 排出量、電気料金、1時間当たりの電気料金の目安が表示されるものです。

宮崎市ではエコワットの貸し出しを行っています。家電製品の使用電力量、電気料金等を知ることで、省エネに役立てましょう。

【貸出方法】

対象者:宮崎市民及び宮崎市内の事業所

貸出期間:30 日以内

（予約者がいない場合には続けて貸し出すこともできます）

貸出料金:無料（1人1個まで）

貸出窓口:宮崎市役所　環境部　環境保全課（第2庁舎4階）

環境家計簿を活用しよう！

家でどれくらいの温室効果ガスを排出しているか環境家計簿を利用して確認してみましょう！環境家計簿とは、家庭での電気・ガス・水道などの使用量を把握し、二酸化炭素の排出量を計算する家計簿のことです。**宮崎市でも独自の環境家計簿を作成し、HPにて公開しています。是非ご活用ください！**

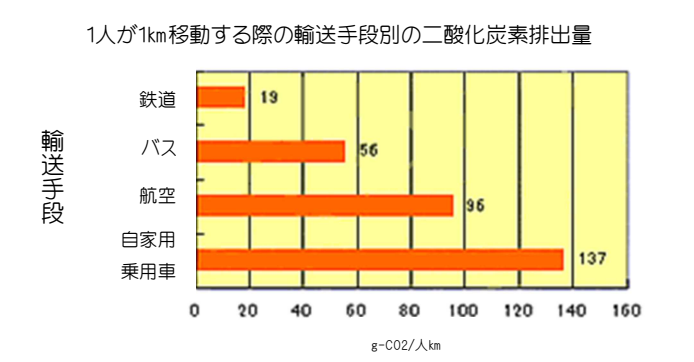
※現在公開している環境家計簿の電気の排出係数は H31のものとなります。

ページはこちら！

「移動」を「エコ」に。

「移動」を「エコ」に　smart moveに取り組みましょう

smart move(スマートムーブ)とは、日常生活の様々な移動手段を工夫し、CO2 排出量を削減しようという取組です。通勤通学はもちろん、旅行やお買い物など、私達の生活には移動が伴います。新年度になり、新しい環境になるこのタイミングで移動の手段について見直してみましょう！



移動手段によって CO2 排出量は異なります。
公共交通機関の利用や、徒歩、自転車での移動など、日常生活で移動手段を工夫することは CO2 排出量を削減するために大きな意味があります。

出典：輸送量あたりの二酸化炭素の排出量(旅客)
平成２９年度（国土交通省）

smart moveが推進する5つの取り組み

●公共交通機関を利用しよう

通勤、通学、旅行やちょっとした外出なども公共交通機関の利用を心がけましょう。

●自転車、徒歩を見直そう

CO2 を全く出さない移動方法です。温暖化防止はもちろん、なにより健康的です。

●自動車の利用を工夫しよう

「アイドリングストップ」等のエコドライブは燃費も良くなり経済的。エコカーへの乗り換えも CO2 の大幅削減につながります。

●長距離移動を工夫しよう

長距離移動は、新幹線やバスなどの公共交通機関や、自転車を利用するなど、CO2 を削減できる要素が沢山。

旅行時に排出される CO2 をオフセット(埋め合わせ)できるエコ旅行・エコ出張の取組も登場しています。

●地域や企業の移動・交通における CO2 削減の取り組みに参加しよう

カーシェアリング、コミュニティサイクル等の利用をしましょう。車を所有しないため、数分程度の「ちょい乗り」が減り、車の利用時間が大幅に減るというデータも。

宮崎市での取り組み

●グリーンスローモビリティ実証調査

宮崎市では昨年末、中心市街地の回遊性向上を目指して、高千穂通りからあいあい通り、広島通り、あみーろーどを周遊するグリーンスローモビリティの実証調査を行いました。5,901 名の方にご利用いただき、アンケート結果からは、満足度(「満足」、「どちらかといえば満足」の割合)93.1%、地域に(将来的に)必要な乗り物だと思う89.7%と大変ご好評いただきました。

また、調査期間中のグリーンスローモビリティによる CO2 削減効果は、212.0kg-CO2(乗用車との比較)であり、地域交通の大幅な低炭素化につながると注目されています。

(グリーンスローモビリティとは、時速 20 km未満で公道を走ることが可能な、4人乗り以上の電動による公共の移動手段。)

宮崎市はCOOL CHOICEに賛同し、地球温暖化対策を推進しています

「COOL CHOICE(賢い選択)」とは

2030 年度に温室効果ガス排出量を 26%削減(2013 年度比)する目標達成のため、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの転換」など地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す政府が推進する国民運動です。

賛同登録は右の QR コードより可能です。希望の方のみ COOL CHOICE に関するメール便が届きます。個人、団体での登録が可能です。

編集後記　春です。4月22日はアースデイということもあり、新生活の始まるこの時期は環境問題について考える良い機会。毎年この日にあわせ世界各地でイベントが行われ、なんとゲームの中でもアースデイイベントが存在します。あまり外に出られない今、ゲームから環境について考えてみませんか。